

# HEnDA から世界の教員 Top50 に！

## 福井県立藤島高校の三仙先生が Global Teacher Prize を受賞

HEnDA

2025/02/22

2025年2月11日、HEnDAの広報委員会副委員長であり、同普及委員会委員である福井県立藤島高等学校の三仙真也教諭（40）が Global Teacher Prize を受賞（Top50）しました。イギリスのパーキー財団が設立した国際的な賞で「教育界のノーベル賞」とも称される国際的にも名誉ある賞です。財団の発表では今回は89カ国6000人ほどの応募があったとのことですが、日本からの選出は三仙先生のみでした。授賞理由の1つが、日頃からのディベート指導ということで、HEnDAとして非常に喜ばしく思っています。

### <Global Teacher Prize とは>

イギリスの国際教育機関「パーキー財団」が2015年に設立した国際的な賞で、教科の専門性や、教師個人の能力を評価するのではなく、さまざまな環境下で実践できる優れた教育活動を表彰します。エントリーから審査によってトップ50を選出後、さらにトップ10まで絞り込まれ、最終的に最優秀賞を受賞する優れた教師1名を選びます。（出典：朝日新聞デジタル）

### <ドバイでの授賞式から戻られた三仙先生からのメッセージ>

今回の受賞は率直に驚きでした。

選考は書類選考を経て、次にzoomによる面接、その他いくつかの追加書類の提出を踏まえて2025年1月に受賞の決定通知がありました。（余談ですが、二次選考に進むメールを受信したのは「全国大会 in 岡山に向かうシャトルバスの中」でした 笑）

<https://globalteacherprize.org/pages/2024-finalists-globalteacherprize>

※各国の受賞者はこちらでご覧いただけます

日本では唯一の選出、通算でも日本人8人目の受賞ということで、非常に栄誉ある賞をいただき、感謝しております。

<https://globalteacherprize.org/news/global-teacher-prize-finalists/2024-finalists-global-teacher-prize/1761/1761-Shinya-Sanzen>

※詳細を財団が紹介してくれているページです。HEnDAの記載もあります。

エッセイでは、自分が行なっている授業スタイルが、どのように生徒の英語の授業力を培えるか、その土台として発問やディベートなどを授業に取り入れる方法、などをまとめ、提出しました。

地域と都市格差の広がり、教員志望の学生が減っていることなどの問題点をふまえ、文科省のYouTube（<https://youtu.be/2zQfXMX55WY?si=asGiQB5iv2jQLz4a>）（※）やこれまでに出していたディベートに関する論文や各種学会での発表内容なども追加して、ディベートを授業で導入することは未来の教員を「支える」授業形態、のようにまとめました。

※文部科学省/mextchannel 授業で行う英語ディベートシリーズでは、他校の実践も取り上げられています。

（[https://youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbD0lmif11yTsoojv8CWACPB&si=nfcZWd\\_LpLVhQO2w](https://youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbD0lmif11yTsoojv8CWACPB&si=nfcZWd_LpLVhQO2w)）

## <受賞に当たって>

この受賞は、これまで支えてくださった全ての方々、HEnDAに関わる全ての方々のおかげだと思っております。教員になるまでディベートの経験が全くなく、右も左も分からなかった自分が、少しだけですがディベートを教えることができるようになったのは、HEnDAが温かく迎えてくださったからだと思っております。微力ではありますが、今後も普及・広報に努めて参ります。本当にありがとうございました。

研修会・レクチャーなど、協力できることあればHEnDA、または三仙までどうぞお気軽にご連絡ください。

Global Teacher Prizeの申請にあたり書いたエッセイの一部を紹介して、結びとさせていただきます。今後ともご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

What I wish to accomplish in promoting the use of English debate in the classroom is for students to harness their logical thinking skills. Thinking critically is one of the foundations of mutual understanding, which requires language ability as well. Japan is often perceived as a meek society, and to some extent, that may be true, but hopefully, through English debate, students will grow accustomed to expressing their ideas loudly and confidently. My wish is to create an online debate platform that allows students of various nationalities and other backgrounds to discuss key issues and experience debate together, deepening their cultural experiences and understanding of the world.

福井県立藤島高等学校 三仙真也



授賞式にはスペシャルゲストとして、世界的ギタリストのナイル・ロジャース氏が来ていました